



2023年1月16日

各 位

株式会社スーパーバリュー
代表取締役執行役員社長 岸本圭司
(コード番号 3094)
(問い合わせ先)
常務取締役執行役員 中谷圭一
電話 048-778-3222(代)

通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年1月16日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2022年7月15日に公表しました通期業績予想の修正及び2022年4月14日に公表しました配当予想を下記のとおり修正することを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

2023年2月期通期業績予想の修正（2022年3月1日～2023年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	69,672	10	100	50	6.65
今回修正予想（B）	66,833	△1,700	△1,602	△1,663	△220.63
増減額（B－A）	△2,839	△1,710	△1,702	△1,713	－
増減率（％）	△4.1	－	－	－	－
（参考）前期実績 （2022年2月期）	72,084	△803	△705	△829	△130.97

修正理由

2023年2月期第3四半期累計期間におきましては、当初、会員カード特典の即日値引きを前事業年度から引き続き展開し、売上高及び客数の回復に努めてまいりましたが、チラシ販促を停止した期間があった影響と即日値引きは売上高及び売上総利益の減少に直接影響することから、第1四半期会計期間の売上高は前年同期比89.0%となりました。

そこで、5月上旬に即日値引きを中止し、ポイント付与に変更しポイントアップキャンペーン販促を拡大、チラシ販促を再開し安さを打ち出すためのチラシ販促を展開、また、各店舗では独自の特売価格を打ち出し、売上高の計画を達成すべく努めてまいりました。

しかし、ポイント販促拡大の効果は限定的で、メリハリをつけた販売価格のコントロールができず特売等では安価で販売することが続き、ポイント販促の拡大により売上高及び売上総利益の減少が多額になってしまうなど、想定していた効果は得られませんでした。

更に、新型コロナウイルス感染症の第7波・第8波による一時的な人手不足が店舗運営に影響し、加えて7月から12月にかけて中堅社員の退職が続き、販売力が低下したことなど想定外の状況が続きました。

新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和や10月からの経済活動支援等により、外食、旅行等のサービス消費は回復傾向がみられたものの、当社の事業領域である食品スーパーや、特にホームセンターでは消費回復にはつながらず、当第3四半期累計期間までの売上高は計画を下回る状況で推移いたしました。

また、仕入先の見直し、販売商品の改廃や在庫の適正化、値引きロス・廃棄ロスの削減による利益改善

等を進めてまいりましたが、原材料不足や円安等による原材料価格及び仕入原価の上昇等もあり、当第3四半期累計期間までの売上総利益率は計画を下回る状況で推移いたしました。

なお、10月よりポイント付与率を変更し、ポイントアップキャンペーンの日も限定して売上高及び売上総利益に与える影響が減少するよう対策を講じております。

販売費及び一般管理費は、光熱費高騰等の影響があったものの、店舗オペレーションの見直しによる作業効率の改善と標準化を進め、徹底した経費節減の取り組みにより、おおむね計画どおりに推移しました。しかし、売上高、売上総利益が計画を下回ったことにより、営業損失、経常損失及び四半期純損失を計上する結果となりました。

当第3四半期累計期間までの業績を踏まえると、2022年7月15日に公表いたしました2023年2月期通期業績予想を下回る見通しとなったことから、上記のとおり業績予想値を修正することといたしました。

現在、業績回復に向け、鮮度・安さを追求しつつ、価格をきめ細かく設定することでメリハリをつけ販売価格をコントロールし値頃感のある価格で販売を進めるとともに、チラシ販促を効率かつ政策的に展開し、各種イベントの開催、会員カードのポイントアップキャンペーン日を定着させ、売上高及び客数の回復に取り組んでおります。

利益面につきましては、継続して取り組んでいる仕入先の見直し、販売商品の改廃や在庫の適正化、値引きロス・廃棄ロスの削減、物流費の見直し、店舗オペレーションの作業効率の改善と標準化を更に進化させ、生産性の向上、徹底した経費削減により、利益の改善・確保に取り組んでおります。

2022年7月15日に公表しましたとおり、株式会社ロピア・ホールディングスが親会社となり、同社及び同社グループ会社とのスケールメリットや取引等の取り組みによる利益改善にも着手しております。

2. 配当予想の修正

2023年2月期 期末配当

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2022年4月14日)	0円00銭	10円00銭	10円00銭
今回予想	—	0円00銭	0円00銭
当期実績	0円00銭	—	—
前期実績 (2022年2月期)	0円00銭	5円00銭	5円00銭

修正理由

当社は、将来の事業展望と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様に対して適正かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。

また、当社の剰余金の配当は、期末配当の年1回を基本方針としております。

しかしながら、2023年2月期の配当につきましては、今回の通期業績予想の修正を踏まえ、各指標において前回予想を下回る見込みとなったため、期末配当予想の1株当たり10円00銭を誠に遺憾ながら無配に修正させていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、可能な限り早期に復配できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※上記の予想は、現時点で得られた入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上